



2022年10月期第2四半期 決算説明会資料

2022年6月9日

くら寿司株式会社

Kura Sushi, Inc.

(銘柄コード 2695)

目次

- 2022年10月期第2四半期 実績
- 2022年10月期第2四半期 通期計画
- ESGへの取り組み
- 資料

2022年10月期第2四半期 実績

業績ハイライト

- ✓ 連結売上は893億円で、2年連続で過去最高を更新
- ✓ 日本、米国、台湾の全てのエリアにおいてコロナ禍収束の兆しが見られ回復基調に
- ✓ 経常利益は35億円 (196.0%増)。親会社株主に帰属する四半期純利益は22億円 (229.2%の増) となった

(単位:百万円)

	21/10期 第2四半期	22/10期 第2四半期	増減	増減率 (%)
売上高	74,620	89,312	14,691	19.7
営業利益	428	323	▲105	▲24.6
経常利益	1,185	3,507	2,322	196.0
親会社株主に帰属 する四半期純利益	668	2,201	1,532	229.2

セグメント別の状況

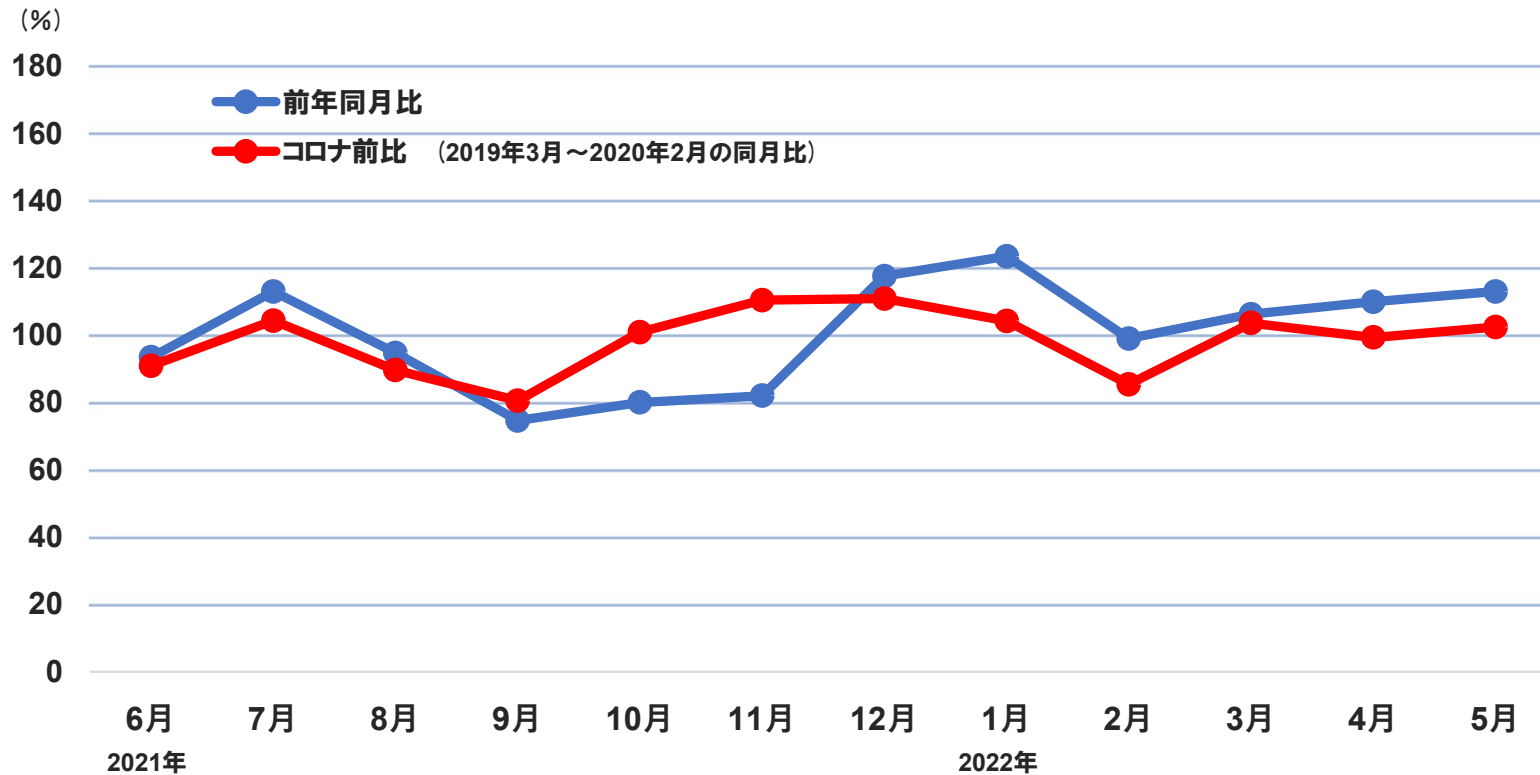
- ✓ 日本は、まん延防止による営業制限を受けたが、積極出店、感染症対策、魅力的なフェア、話題性のある販売促進などの総合力で、過去最高売上を更新
- ✓ 米国は、営業規制がなくなり売上が全店でV字回復。過去最高売上を更新
- ✓ 台湾は、経済の正常化とともに、積極的な販促策を展開し、過去最高売上を更新

(単位:百万円)

	第1Q		第2Q		2022年10期 (第2Q累計)		
	売上	経常利益	売上	経常利益	売上	増減率 (%)	経常利益
くら寿司 (日本) 2021/11~2022/4	39,524	2,439	35,471	728	74,995	11.8	3,167
Kura Sushi USA, INC. 2021/9~2022/2	3,355	▲142	3,585	▲214	6,941	258.4	▲356
亞洲藏壽司股份有限公司 (台湾) 2021/10~2022/3	3,573	359	3,802	337	7,375	31.3	696
合 計	46,452	2,656	42,859	851	89,312	19.7	3,507

既存店売上の状況（国内）

- ✓ 緊急事態宣言解除後は、「感染症対策の浸透」、「トロやカ二等の魅力的なフェア展開」、「話題性のある販売促進」により、コロナ禍以前の売上水準で推移
- ✓ 2月は、まん延防止による営業時間の制限を受けたが、影響を最小限に止めている



新しい生活様式への対応

- ✓ TVCMやweb等にて、10周年を迎える抗菌寿司カバーを徹底訴求
- ✓ 2021年12月17日、全店での「スマートくら寿司」化を完了。新しい生活様式の当たり前前に

抗菌寿司カバーのweb広告

日本以外の回転寿司では
スシ□カバーなしでは営業できません!

世界基準の安心がここに。

SIAA
ISO 22196
抗菌加工

Ask
Doctors
97%

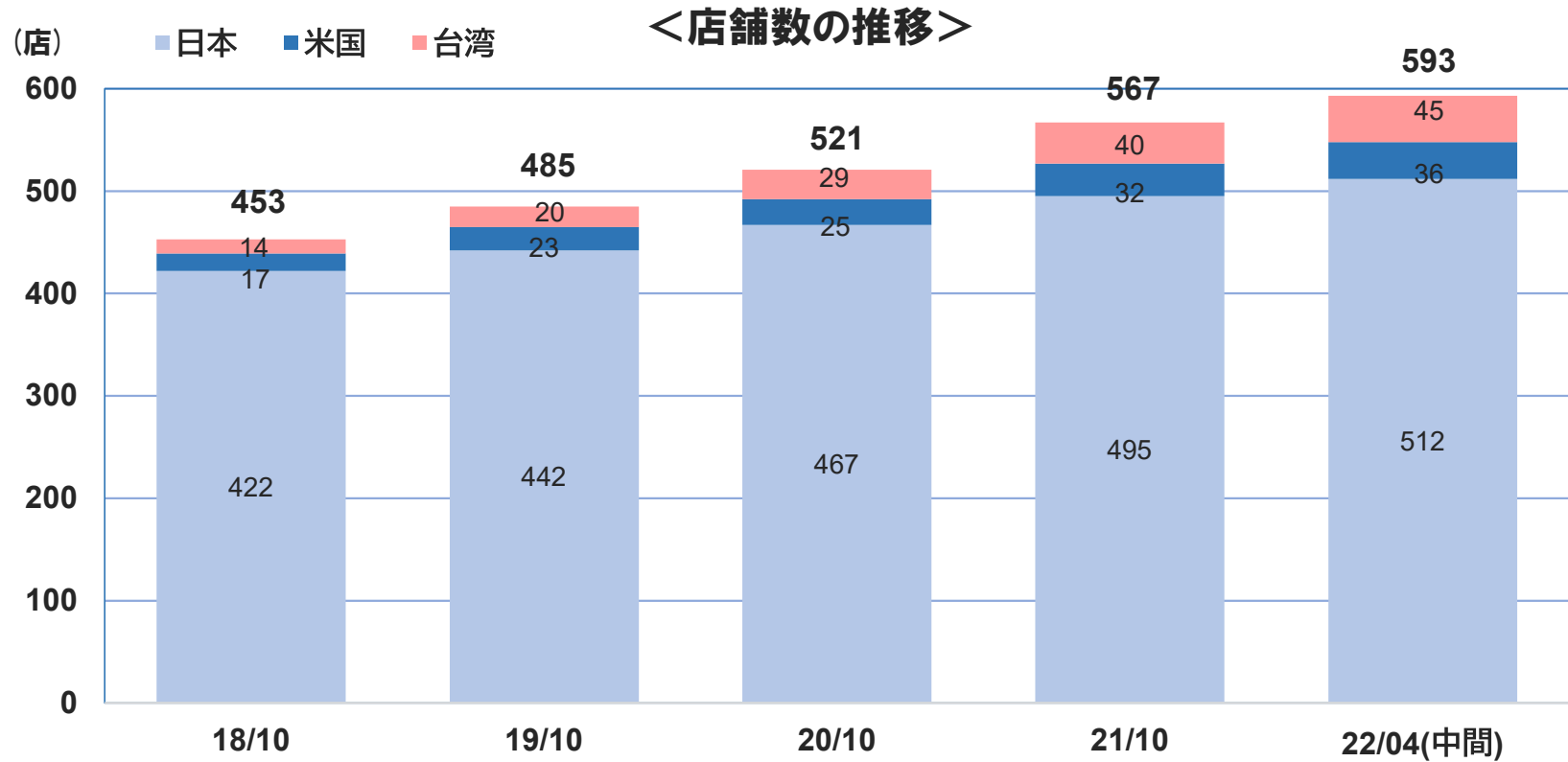
※15の国と地域で採用：自社調べ 22年2月現在（写真はイメージです）

スマートくら寿司



出店状況 (連結)

- ✓ 連結では、グローバル旗艦店2店を含め、26店を出店 (日本17店、米国4店、台湾5店)
- ✓ 通期では、計画通り、50店の出店は達成する見込み



出店状況 (連結) グローバル旗艦店について

- ✓ グローバル旗艦店の3号店を原宿、4号店を押上に続々とオープン
- ✓ 今までにないエンターテインメントへ挑戦し、何度も行きたくなる「くら寿司」を象徴する店に



[原宿] 12月9日オープン。“世界一映える寿司屋”をコンセプトにスイーツ屋台や、初の個室、テラス席を備えた店舗

<グローバル旗艦店とは>

- ✓ グローバル旗艦店とは、日本の文化の象徴であるお寿司を、日本文化と共に世界に発信する「ジャパンカルチャー発信型」の店舗
- ✓ コンセプトは“観光”と“食事”が同時に体験できる「サイトイーティング (Sight Eating)」
- ✓ 内装は、世界的に活躍するクリエイティブディレクターの佐藤可士和氏監修
- ✓ 1号店「浅草」(2020年1月)、2号店「道頓堀」(2021年4月)にオープン



[押上] 3月31日オープン。巨大&デジタル化した店内エンターテインメントアトラクション『ピツくらポン! DX』、『デジタル射的「ピツくらギョ!」』を導入



客単価アップへの取り組み

- ✓ 新たな寿司メニューへのチャレンジとして、高単価商品「極みの逸品」シリーズを展開。本格的なお寿司をご希望のお客様から評価
- ✓ 調達環境が厳しい中も、魅力的な商品を豊富にラインアップ (220円皿を中心に品揃え)



【極みの逸品】
極みの5貫 国産天然本まぐろ880円



【極みの逸品】豪華海の三宝ちらし680円



【極みの逸品】極上かに玉手箱680円



調達環境が厳しい「かに」をメインにしたフェアを展開

話題性のある販売促進

- ✓ 話題性のあるコンテンツとのコラボ企画をタイムリーかつ継続的に展開
- ✓ 幅広い世代のお客様の来店動機につながり、既存店の売上アップに大きく貢献

「鬼滅の刃」



社会現象にもなった「鬼滅の刃」の続編、テレビアニメ「遊郭編」の放送開始にあわせて、コラボ企画を展開

「BT21」



アイドルグループBTSとLINE FRIENDSのコラボレーションで誕生。世界中で大人気のキャラクターです。

「名探偵コナン」



劇場版映画「名探偵コナン ハロウィンの花嫁」の上映開始にあわせて、コラボ企画を展開

海外子会社の状況（米国:Kura Sushi USA,INC.）

- ✓ 売上が69億円（対前年約3.5倍）、経常利益が▲3億円となった
- ✓ 店内での座席制限などの規制がなくなり、売上は全店で回復。過去最高売上となった
- ✓ 出店は計画通り、4店を新規出店



2021年12月オープンの「チャンドラー店」 オープン初日、多くのお客様に来店いただきました

海外子会社の状況（台湾：亞洲藏壽司股份有限公司）



- ✓ 売上が73億円（前年比31.3%増）、経常利益が6億円となった
- ✓ 個人消費はほぼ正常化。台湾でも人気の「鬼滅の刃」キャンペーンを実施するなど積極的な販促効果もあり、売上は過去最高売上となった
- ✓ 出店は計画通り、5店を新規出店



2022年2月オープンの「高雄SKM Park店」



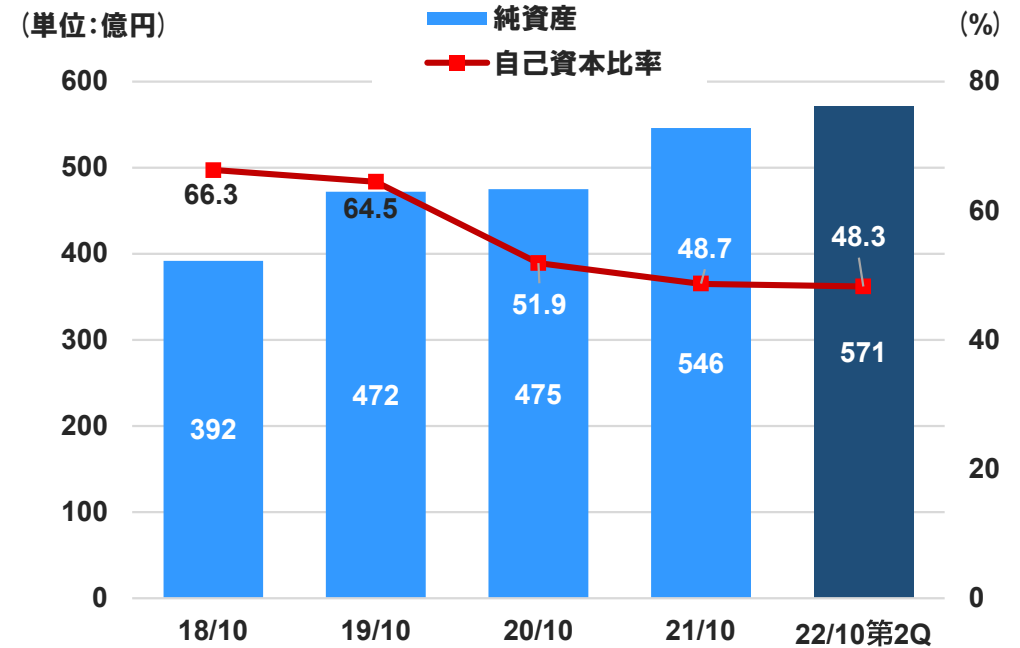
「鬼滅の刃」とのコラボ企画を展開

BSの状況／自己資本比率

- ✓ 純資産額は571億円。自己資本比率は、48.3%と高水準を維持
- ✓ 不測の事態に備え、財務の健全性を維持していく方針は変わらない

(単位:百万円)

	21/10期末	22/10期第2Q	前期比増減
流動資産	29,464	27,403	▲2,060
[現預金]	18,748	17,216	▲1,531
固定資産	69,525	76,673	7,148
資産合計	98,989	104,076	5,087
流動負債	23,195	22,826	▲369
固定負債	21,136	24,080	2,943
負債合計	44,332	46,906	2,574
純資産	54,657	57,170	2,512
負債・純資産合計	98,989	104,076	5,087
自己資本比率 (%)	48.7	48.3	▲0.4



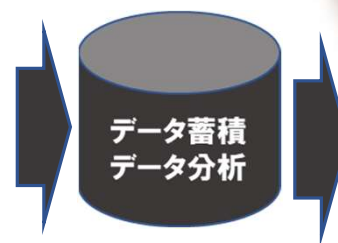
※ 20年10月期の自己資本比率の変動は、国際会計基準の「リースに関する会計処理の変更」により総資産が増加したためです。

2022年10月期第2四半期 通期計画

「スマートくら寿司」での蓄積データを積極活用

- ✓ データを活用するマーケティング体制を整備、分析するシステム導入の検討を進していく

スマートくら寿司



新サービスや新商品開発へ



出店計画（連結） 50店舗の出店

- ✓ グループ全体で50店の出店を達成見込み
- ✓ 国内では、新形態店舗モデル「プラス型店舗」を京都に出店（5月）。今後の経済活動・インバウンド復活に向け、付加価値のある店舗出店を強化 ※海外での出店は別途ご紹介



上の写真（左右とも）は「京都店」。「SNS映え」と「ジャパニーズモダン」な内装が特長。「プラス型店舗」は東京・大森にも今年7月に開業予定

客単価アップへの取り組み

- ✓ 引き続き、調達環境は厳しいことが想定されるが、商品は十分に確保できる見通し
- ✓ 品揃えにおいて、他社との差別化を図り、客数アップにつなげる
- ✓ 調達価格等の高騰への対応として、あらゆる対応を検討する



【極みの逸品】シリーズを今後もどんどん展開していく予定

調達力を生かし、豊富なメニュー提案を継続

海外子会社（米国：Kura Sushi USA,INC.）



- ✓ 売上は順調に推移しており、当初計画通りの\$130M～\$140Mを見込む
- ✓ 米国内でのインフレは続くが、今後、収支は改善する見込み
- ✓ シェア拡大のため積極的な出店を継続。通期では8店～10店の予定



2022年3月オープンの「ウォータータウン店」

海外子会社（台湾：亞洲藏壽司股份有限公司）



- ✓ 台湾全土での経済活動の正常化に伴う、旺盛な外食需要を取り込んでいく
- ✓ 出店は、通期で7店～10店の予定
- ✓ 現地で人気の日本のキャラクターを生かした施策も継続的に展開



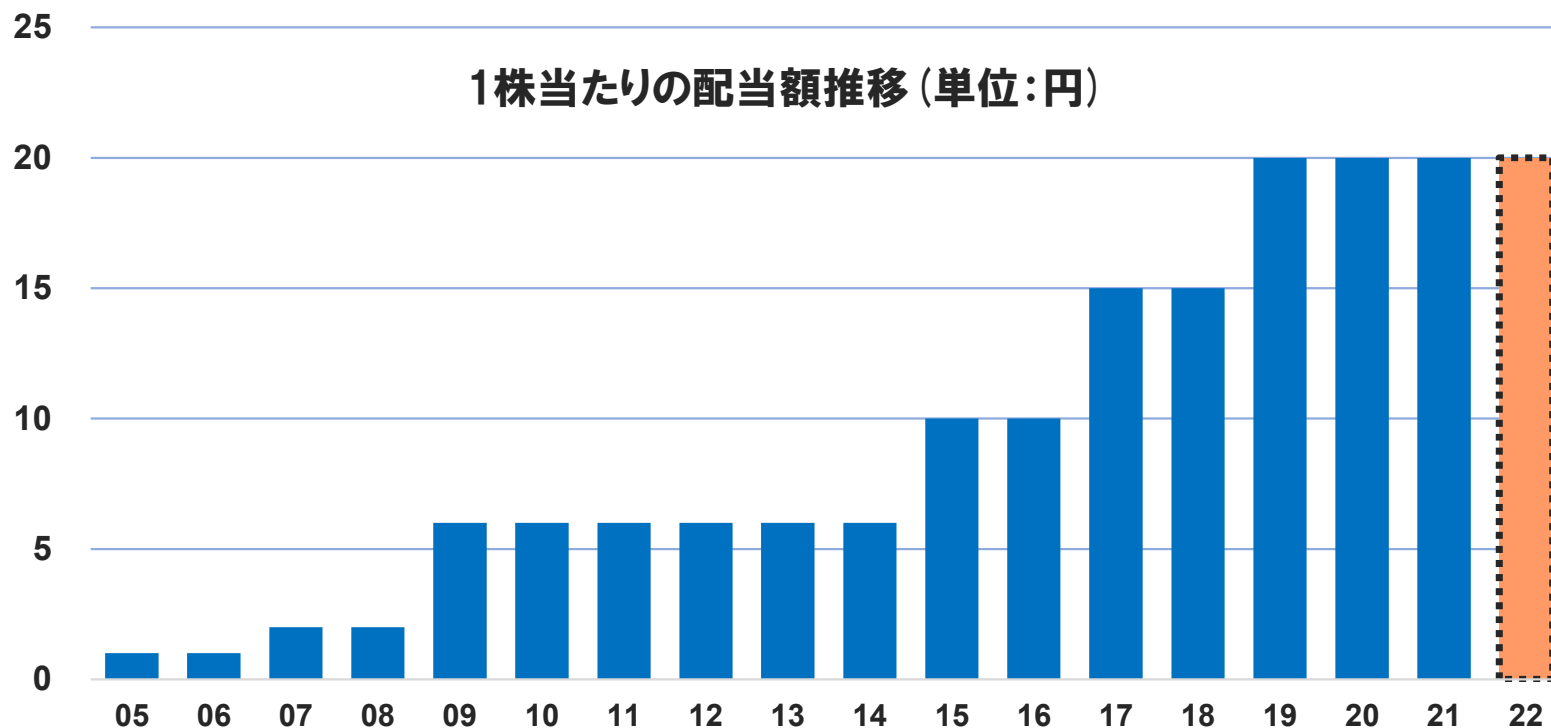
2022年3月オープンの「屏東勝利路店」



「クレヨンしんちゃん」とのコラボでは、
びっくらポンだけでなく、店内装飾も含めた企画に

配当政策

- ✓ 安定的な配当が基本方針
- ✓ コロナ禍でも21/10期は20円の配当を実施。22/10期も20円を予定



※1株当たりの配当額は、2021年5月実施の株式分割後の金額に修正しております。

ESGへの取り組み

ESGへの取り組み (まとめ)

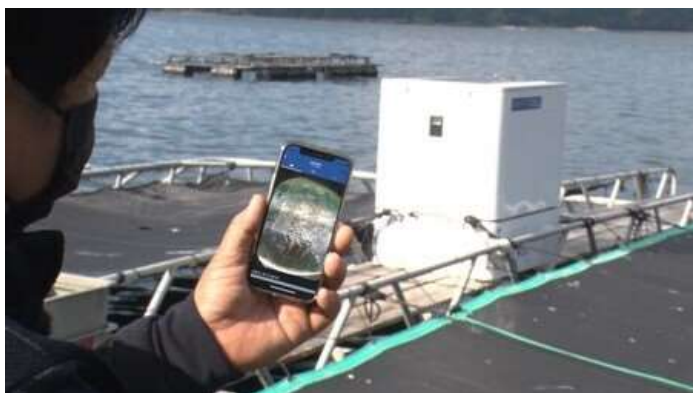
くら寿司は、社会の持続可能な発展に貢献するため、ESG (Environment:環境、Social:社会とのつながり、Governance:ガバナンス) に積極的に取り組んでいます。

ESG	主な取り組み		該当するSDGs	
Environment: 環境	漁業創生取り組み	<ul style="list-style-type: none"> • さかな100%プロジェクト (低利用魚の商品化など) • 天然魚“魚育”プロジェクト 	<ul style="list-style-type: none"> • 環境配慮素材の採用 • My箸利用の推進 • 食品ロスの削減 	
Social: 社会とのつながり		<ul style="list-style-type: none"> • 天然魚プロジェクト (加工施設、一船買い) • 漁業の担い手確保の支援 • 養殖事業の推進、支援 	<ul style="list-style-type: none"> • 安心、安全を追求した商品・店舗 • スポーツ支援への取り組み • 障がい者の雇用促進 • 食育取り組み • 出張授業の取り組み 	
Governance: ガバナンス	<ul style="list-style-type: none"> • 持続的成長を支える組織体制 (執行役員制度など) • 働き方改革の推進 • 新しき村構想 (会社の成長が従業員の資産の形成につながる一丸経営の考え方) 			

養殖事業の推進 KURAおさかなファーム株式会社



- ✓ 業界初となる水産専門会社として2021年11月に設立
- ✓ くらグループ内で生産から販売まで一気通貫の体制を構築し、安定した供給量確保とコスト管理を実現することで、お客様により高品質でリーズナブルなお寿司の提供を目指す。また、養殖を委託した魚は、中長期契約で全量買い取り、くら寿司で販売することで生産者様の収入安定にも寄与
- ✓ AI(人工知能)やIoT(Internet of Things)技術を活用した養殖「スマート養殖」を推進
- ✓ 2022年6月から、マダイの委託養殖事業を本格始動。



スマホを活用した「スマート養殖」



スマート養殖で生産した「AI真鯛」

「大阪・関西万博」へ協賛決定！

- ✓ 大阪・関西万博は「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマに、2025年4月13日～10月13日に開催
- ✓ メカニクデザイナーの河森正治さんが担当するテーマ事業「いのちを育む」に「シルバーパートナー」として協賛
- ✓ 本テーマ事業のコンセプトは、「宇宙・海洋・大地に宿るあらゆる「いのち」のつながりを感じ、共に守り育てる」であり、当社が推進する、日本の魚が食べられる環境の永続を目指す「漁業創生の取り組み」における、自然や海洋資源の保全活動の理念と合致



漁業の新規就業者確保への支援

- ✓ 漁業の持続可能な発展のために、「循環フィッシュ」※の売上の一部を全国漁業就業者確保育成センターに寄付。これを一部活用する形で、新規就業者確保への支援するためのイベント「出世U王 未来の漁師誕生！次世代型、漁業就職フェア！」が開催（2022/3/5）
- ✓ くら寿司天然魚バイヤーが参加者と交流 次世代の人材確保に向け協力



※「循環フィッシュ」…国産天然魚の骨やアラなど商品化しにくい部位を魚粉に加工し、餌に使用する魚粉の一部として活用して育てた魚

出張授業の推進

- ✓ SDGsへの理解促進と「食育」について、子供たちの学びを促進するため出張授業を開始
- ✓ 回転寿司を入り口とし、「お寿司屋さんゲーム」などを通じて、楽しく学べる内容
- ✓ 今年4月から募集を開始。反響が大きく想定の3倍以上応募
- ✓ 第1弾は、石川県蛸島小学校で開催。今後も順次実施予定





「Disclaimer」

本資料は、当社グループについての一般的な情報提供を目的としており、当社グループの発行する株式への投資勧誘を目的とするものではありません。本資料に記載される情報は、現時点で入手可能な情報に基づいて作成しているものであり、当社がその正確性、安全性を保証するものではありません。また、本資料に記載される当社グループの計画、予想その他の将来情報については、現時点における当社の判断又は考えにすぎず、実際の当社グループの経営成績、財政状態その他の結果は、経済情勢、外食産業の市場動向、消費者の嗜好の変化、原材料価格の変動等により、本資料記載の内容や将来予想と異なることがあります。

【お問い合わせ先】

くら寿司株式会社 IR部 野島、中原
072 - 493 - 6189
investor-relations@kura-corpo.co.jp